

シンポジウムS2-2

当院における高気圧酸素治療の教育体制

池村昭仁 仲地勝弘

医療法人 沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 臨床工学部

1. 初めに

高気圧酸素治療のオペレーター業務に従事する者の知識・技術向上をどのように行っていくべきか、ということは極めて重要な課題である。当院では高気圧酸素治療装置(第1種)1台を所有し、臨床工学技士(以下CE)26名がローテーションで業務対応を行っているため、新人教育や、スタッフ教育を定期的に行っている2021年度の機器操作訓練の実施内容評価を行ったので報告する。

2. 方法・対象

当院の新人教育として、始業・治療中・終了時・トラブルシューティング・その他/災害訓練・記録や入力等患者初回治療時の7大項目、124小項目の教育チェックリストを作成。見学・実施教育・最終確認の3回の項目確認をし、問題なければ新人教育終了としている。2019年より新人教育として行った対象5名にアンケート調査を実施した。また、定期訓練として2021年度、CE26名を対象に操作訓練を行った。今回の訓練はCovid-19蔓延防止の対策として、少人数かつ短時間での訓練を行うために、院内Eラーニングを用いて事前にHBOにおけるリスクやその対処方法、安全管理についての教育を行い、後日少人数ずつで操作実施訓練を行った。実施訓練内容は患者入室時からの一連の流れを想定して行い、Check listに沿った治療前確認方法や治療装置の操作手順の確認を院内マニュアルに沿って行った。その後、訓練に対してアンケート調査を実施した。

3. 結果

新人教育におけるアンケートでは、5名を対象に行い、5名から回答を得た。(回収率100%)チェックリストによる教育内容満足度は高かったが、実際に教育した際に教育者が毎回かわるので操作方法の順番違いなどの細かい違いがあり、どれを基準にすればいいか混乱が少しあったとの意見や、実際に一人で治療を開始した際、看護師さんとのコミュニケーションがうまくい

かず、チェックリストを省略しようとする看護師さんへ強く対応することができなかったとの意見もあった。

操作訓練アンケートは教育指導者2名を除く24名を対象に行い、24名から回答を得た。(回収率100%)Eラーニング内容、業務手順訓練の内容、理解度、必要性等に関しては、概ね満足度の高い結果となっており、前回の訓練後アンケートにて満足度の低かった、インシデント内容周知や診療報酬改定などの基礎知識、安全管理についてもEラーニングを行う事でよく理解できたとの意見があった。

4. 考察

今回の結果から、定期的な操作訓練やEラーニングにおける教育を行う必要性が再認識できたが、新人教育において、業務手順や安全管理だけではなく、看護師とのコミュニケーションを含めた総合的な教育がより必要であると考えられた。

5. 結語

今後は全職員を対象にした、定期歴な院内Eラーニングの活用など、訓練内容を改善しながら今回の取り組みから得られた課題や提案等を取り入れ、より良い院内訓練を継続していきたい。

6. 倫理的配慮

今回の発表は所属施設の倫理委員会の承認を得ている。

なお、本研究発表を行うにあたり、職員に口答にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益をかぶることはないことを説明し、口答を持って同意を得たこととした。

参考文献

- 1) 日本高気圧環境・潜水医学会 高気圧酸素治療の安全基準 (2018年11月29日改正)